

市内218～219例目（県内393～394例目）の概要

令和3年5月12日公表

5月11日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに2名の方、市内218及び219例目（県内393及び394例目）となる感染者が確認されました。

感染者の状況については、別紙「新型コロナウイルス感染症の発生について」をご参照ください。

218例目及び219例目の方は、いずれも216例目の濃厚接触者として、5月11日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

本日、218例目には症状はありません。219例目は、咳、咽頭痛の症状がありますが軽症とのことです。

いずれも保健所の指導の下に自宅で待機し、本日12日に感染症対策を講じた県内の医療機関に入院される予定です。

二人は、発症日（無症状の場合は検体採取日）2日前（218例目：5月9日、219例目：5月8日）以降の感染可能期間に216例目と同じ市内の勤務先に出勤されています。接客の機会がある仕事ですが、勤務先の協力により接触者は把握できています。

発症日2週間前（218例目：4月27日、219例目：4月26日）以降の調査期間において、いずれも県外への移動歴はありませんでした。

今後も調査結果を踏まえ、必要な検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

発熱や咳などの体調不良時には、まず仕事や学校を休んでいただくことが、感染拡大の防止につながる大切な行動です。

また、家庭内にあっても、部屋を分ける、換気する、マスクをつけるなどの基本的な感染予防策をとるよう注意しましょう。

そして自己判断せず、すぐにかかりつけ医に相談・受診する、積極的に検査を受けるなど、万一に備えた対応をお願い申し上げます。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みに引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。